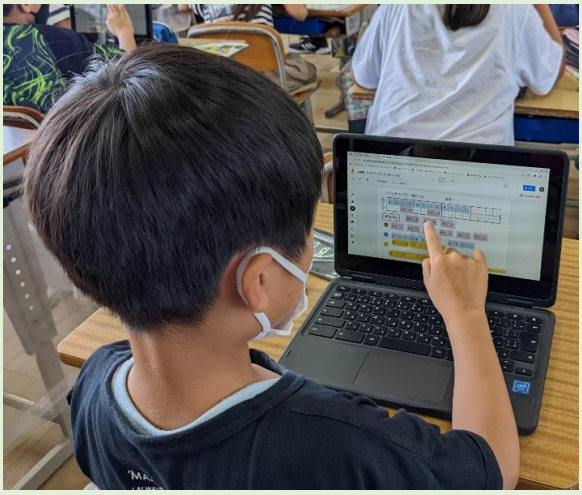
守山市小中学生の保護者のみなさま

守山市の子どもたちの
学ぶ力向上をめざして

学校・家庭・地域で育てましょう



守山市教育委員会

令和４年５月に小学６年生と中学３年生の児童生徒を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」における守山市の結果を踏まえて、学ぶ力を育てるために、学校や家庭で何ができるかについて、ともに考えていきましょう。

大地に根を張り、心豊かにたくましく生き抜く人づくり

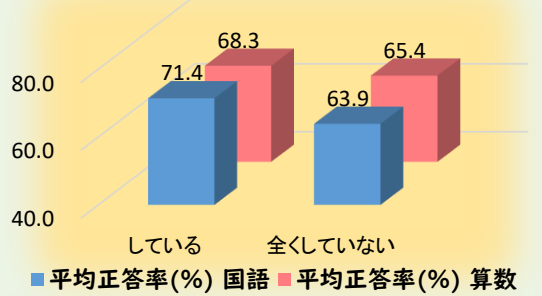
家庭で大切にしたい3つのポイント

<u>保護者のみなさまの励ましと称賛が、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。</u>

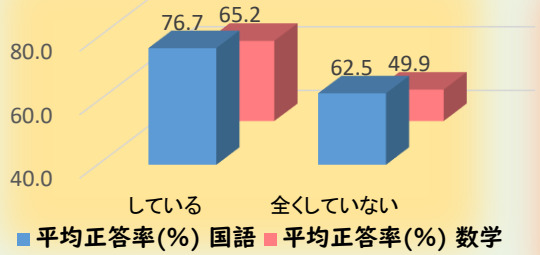
子ども自身が「めあて」や「目標」をもって学習に取り組めるよう、子どもが自分の生活や学習について考える機会を大切にし、挑戦したことを励まし認めてあげましょう。

POINT 1 家庭学習の習慣化

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（小学校）



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（中学校）



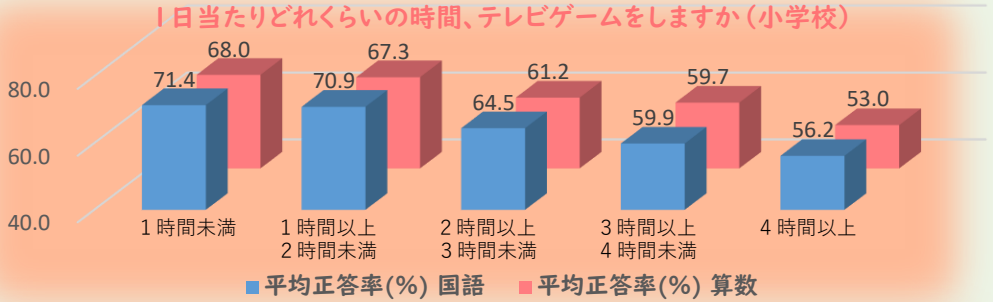
「自分で計画を立てて勉強をしている」子どもほど平均正答率が高い傾向にあります。

自分はどの教科のどの学習が苦手なのか、また、伸ばしたいと思っているのかなど、自分の力を分析し、学習の見通しを立てることは大切なことです。

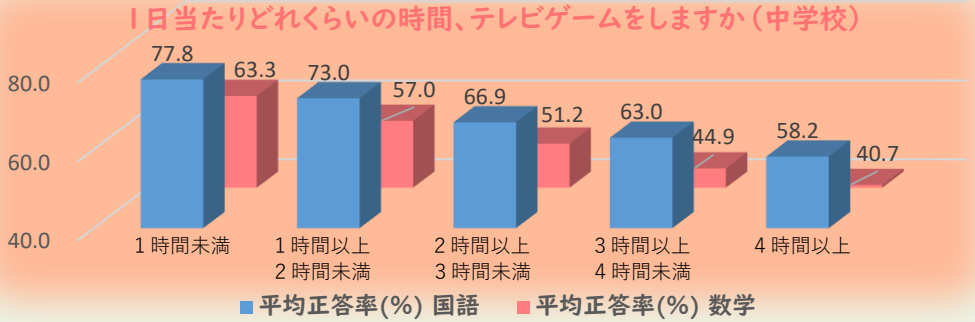
目標を持ち、計画的に学習に取り組む意識が育つよう前向きな声かけをお願いします。

POINT 2 基本的生活習慣の定着

１日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（小学校）



１日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（中学校）

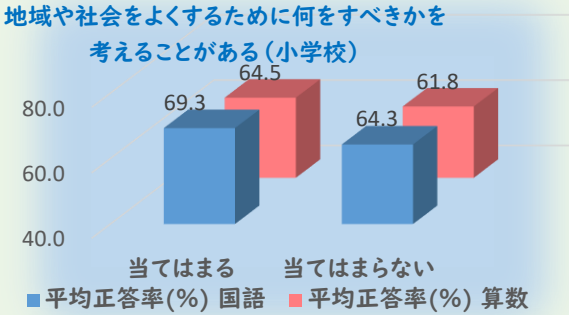


１日当たりのテレビゲーム（携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている時間が多い子どもほど平均正答率が低くなっています。また、このほかに「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の質問についても「当てはまる」と回答した子どもほど平均正答率が高い傾向となっています。

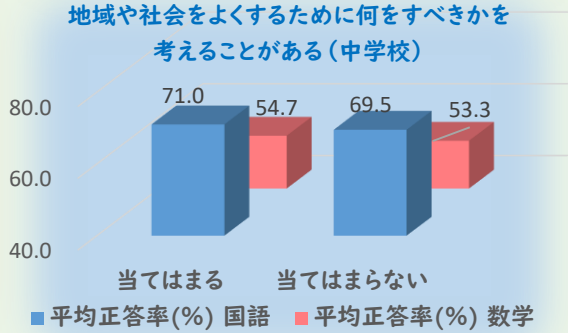
テレビゲームやスマートフォンの使用についてのルールについて、家庭でもよく話し合って相談しておくことが大切です。また、食事、睡眠をしっかりとり、バランスの取れた規則正しい生活が子どもの学ぶ力の向上を支えていることがうかがえます。

POINT 3 地域について考える

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある（小学校）



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある（中学校）



地域について課題意識を持って考える子どもほど平均正答率が高い傾向にあります。地域の課題を自分事として考える態度は、主体的に物事に関わろうとする力につながります。

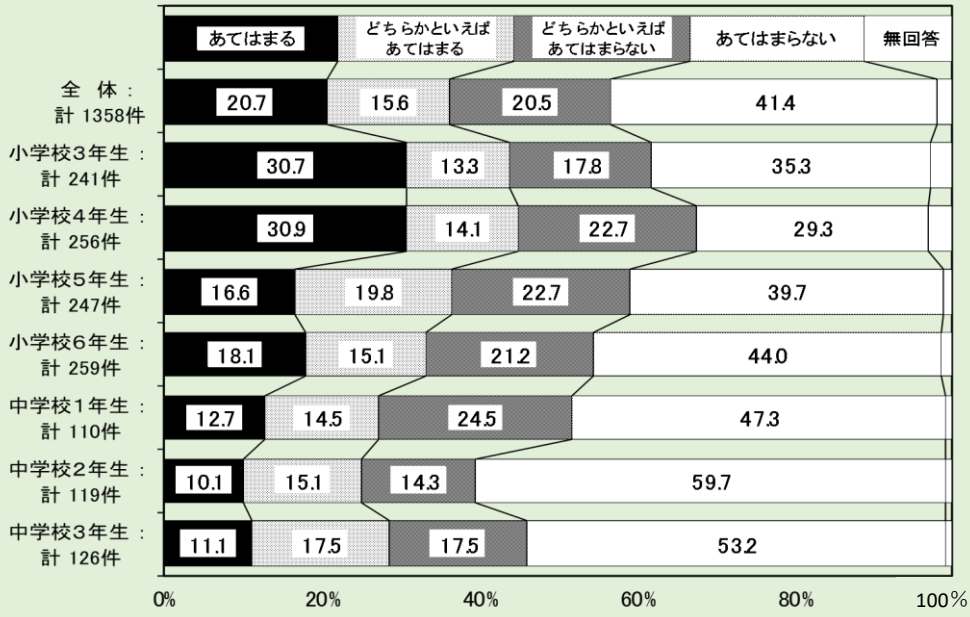
守山市では、児童生徒の地域行事への参加率が高い傾向があります。家庭でも地域の課題や未来について話題に出し、考える機会をもつことで、子どもたちがより一層、主体的に学ぶ意識を持つきっかけとなると考えます。

１日のゲーム･スマホ･テレビに費やす時間が２時間より短い子どもの割合【令和４年度守山市こどもの育ち連携アンケートより抜粋】

令和４年度に実施したアンケートによると、小学３、４年生で５割以上、小学５、６年生で６割以上、中学生では、７割を超える子どもが、ゲーム・スマホ・テレビに１日２時間以上費やしていることがわかりました。生活習慣を考えることは子どもたちの成長にとって、とても大切なことです。

今一度、子どもとともによりよい習慣づくりについて話し合い、考えてみましょう。

１日のゲーム・スマホ・テレビに費やす時間が２時間より短い子どもの割合



守山市中学校生徒会サミットより

ＧＩＧＡスクール構想による学校ＩＣＴ環境の整備

（文部科学省の「ＧＩＧＡスクール構想」により市内の小中学校に１人１台端末と、校内の通信ネットワークを　整備しました。）

- 子どもたちにとってわかりやすい授業づくりに生かしていきます。
- 一人ひとりの考えをお互いにリアルタイムで共有し、子ども同士で意見交換をするなど主体的で対話的な学びを進めるために活用していきます。
- プログラミング教育を進め、論理的思考を育てていきます。
- ＡＩドリルなどを活用して、個人の学びに最適化された学習を進めていきます。